

広報

のあさひ

No.315

'83

2/15



将来はスキー選手

* 白倉に子どもらの歓声

絶好の天候に恵まれた2月1日・2日の両日、白倉スキー場で西部地区少年スキー教室が開かれました。この日は4年から6年まで30名が参加し、町スキークラブ員の指導で基本技術からマスター。後半には、急傾斜をものともせずに思い思いのシユプールを描いていました。

(写真/滝川清一広報委員)

● 今月の内容 ●

白倉スキー場5年目の課題……………2

●12月定例町議会から……………6

●カメラルポ

町営住宅「清水ハイツ」完成……………10

●みんなの教育

壮年層の組織と活動を考える……………12

●町民のひろば・情報室……………14

急がれる野外客への対応

白倉スキー場5年目の課題

白倉スキー場が開設されて五年目。八〇〇級チェアリフトに続き、今シーズンはロツジ「しらくら」も完成して、連日町内外のスキー客でにぎわいを見せています。しかし、利用者が激増している反面新たな問題も出てきています。今月は、白倉スキー場の現状と課題についてみんなで考えてみましょう。

昨シーズンは 一万二千人が利用

町民白倉スキー場は、昭和五十三年十二月に開設以来五年目を迎えました。

まず二〇〇級Tバーリフト一基の設置に始まり、二年目は一〇〇級Tバーリフトを増設。四年目には、ゲレンデを大幅に拡張するとともに、八〇〇級のチェアリフトを設置しました。

さらに今シーズンは、休憩や食事、案内のための緑地等管理中央センター（ロツジしらくら）が完成するとともに、頂上近くの一〇〇級Tバーリフトを一七〇級に延ばすなど、条件整備は着々と進んでいます。

左下のスキー場利用状況を見てわかるように、三年目までは一シーズンの利用者が二千人前後でほぼ横ばいであったのが、四年目のチェアリフトが出来た年には、約五倍の一万二千人余りにふくれ上がりました。

また今シーズン十二月から一月いっぱいまでの利用者が七千五百人余り。一日平均では一九四人で、昨シーズンの一二三人を大幅に上回っています。

白倉スキー場を利用する人が増えた理由には、なんといっても中級クラスの長いスロープと、それに応じたチェアリフトが設置されたことがあげられます。客層も、町内のスキー人口が増えたことはもとより、近

隣の市町から訪れる人の数も年々伸びています。

これは、蔵王など遠いところへ行くよりも、比較的交通の便がよく、ロツジや休憩所などもあり家族連れで楽しめるなど、ファミリースキー場としての条件がそろってきたことの表われといえるでしょう。

また、今シーズンはスキー場行きのバスを運行。冬休み期間など主に子どもたちに利用されています。

当面の課題は 駐車場と休憩所

スキー場利用者が年々増えることはたいへん喜ばしいことですが、問題がないわけではありません。



休日ともなると 800mのリフトもビッシリ。今シーズンは町外客が目立つ

その一つに駐車場問題があげられます。現在、部落内に三つの駐車場がありますが、全部合わせても収容できるのは一二〇台程度で、休日になるとすぐ満車になり道路にあふれ出してしまします。

一月十六日の日曜日には道路にも停めることができず、しかたなく帰ってしまった車が数十台あったという事です。こういうことでは、遠いところからせっかく来ても、白倉スキー場の評判を落としてしまうことになります。

次に休憩所の問題です。昼食や休憩ができる場所として、これまであった管理棟やふるさとの家、新しくチェアリフト終点付近に



今シーズンは新たにロッジが出来、Tバーリフトも170mに延長された（ゲレンデ頂上付近）

出来たロッジなどがあります。

ロッジではいろいろなメニューの中から選んで食事ができるようになり、たいへん便利になりましたが、今のところロッジは、チェアリフトに乗らなければ利用できません。そこで、子ども連れの人などはどうしても無料休憩所を兼ねた管理棟に集まっています。休日ともなると、この管理棟はすくいつぱいになり、家族連れのかたの悩みのタネになっています。

早急に

解決を

それでは、このような問題に今後どう対処するのか町の三カ年実施計画（五十八年～六十年度）から見えてみましょう。

まず道路問題ですが、町道白倉線に五カ所ほど待避所を設置するほか、白倉部

落からロッジまでの林道を舗装する計画です。

また駐車場関係では、ロッジ下に設けた運動広場を駐車場として活用すれば、一五〇台の車を収容できるほか、ロッジ付近に一万平方メートル程度の駐車場を新設する計画があります。さらにゲレンデの拡張に伴い圧雪車を一台増やす予定です。

しかし、これらは予算が伴うものであり、必ずしも具体化したものとはいえません。

ところで、数年前から要望されていた宿泊の問題ですが、このほど、ふるさとの家の内部改造を行い、二月中旬から二十五名程度収容できる旅館として営業が開始される予定です。そうなれば、都会から泊まりがけで訪れるスキーヤーへも対応でき、スキーの合宿練習なども可能になります。また、屋食や休憩のための無料休憩所を拡張することとも、解決しなくてはならない大きな課題といえます。

*白倉スキー場利用状況

単位：人

	12月	1月	2月	3月	計	日平均
53年度	—	482	938	232	1,652	21.7
54年度	—	1,011	856	233	2,100	23.1
55年度	196	848	897	571	2,512	25.1
56年度	639	5,319	4,780	1,528	12,266	122.7
57年度	550	7,014	—	—	(7,564)	193.9

年間通した

ふるさと村へ

白倉スキー場が年々充実してきたのは、町の投資のほかに、部落のかたがたの理解と協力、さらには町のスキークラブによる技術の普及や指導態勢なども見逃せないことです。

さて、将来の課題として上級者向きのゲレンデ増設の要望なども出ていますが、まず、これまであげられた問題をどう解決してい



内部改造し宿泊が可能になったふるさとの家

くが当面の課題です。

また反面、私たちの身近にあるスキー場をどう活用していくかも考えなければならぬことです。雪国の特権を生かし、子どもたちが積極的にスキーに親しんでいくような教育もたいせつです。

その意味で、今回朝日中から県中学スキー大会に初出場し、上位進出を果たしたことは、スキー場を持つ町であればその出来事といえます。

白倉にスキー場が出来たために、区民の就労の場が

増えたことも成果となっているわけですが、冬だけでなく、新しく出来たロッジを拠点として夏場の利用をどうするかが大きな課題となります。

最近のふるさとブームに対応するために、白倉区民経営の民宿などはどういうものか。いずれにしても今後、年間を通して「しらくらふるさと村」を充実させ、町内はもとより、町外から訪れた人には特に温かい心でもてなし「またぜひ白倉に来てみたい」と言われるような対応をみんな考えていきたいものです。

平日に 伸び伸びと

それではここで、利用者の意見や地元の声を伺ってみました。

はじめに小原の相座得治さん(34才)に伺ってみました。

「ずいぶん日焼けしているようですが……。相座「きょうで四日間続け白倉スキー場です。子どもが冬休みなもので……今シーズンにはもう二十回近くになりますね。」

私がスキーにやみつきになったのは、前に蔵王へ出



小原 相座 得治さん

稼ぎにいつていた時に少しかじったことが最初で、白倉スキー場が出来てからは毎年来ています。ほとんど家族ぐるみで来てるもんですから、子どもたちも自然にスキーをするようになったわけです。

小学五年と一年の男の子だけです、大きい子は三年生から、小さいほうは三歳の時から固定式の靴スキーを始めます。ずいぶん回数は滑るので、今シーズンには親子三人ともシーズン券を買いました。

私のスキーは我流ですがやはり、技術は基礎から習うべきだと思いますね。その点、スポーツ少年団に入ると町スキークラブの指導

で基礎からきちんと教えてもらえるのでたいへん助かります」

——このスキー場についてはどうですか？

相座「ゲレンデに変化があるし、上にも下にも休める所があってたいへんいいですね。食事やリフト待ちなどを考えると、できれば平日に来たほうがゆとりで

きるようです。なんとといっても、蔵王などに比べ金をかけないでスキーが楽しめること、それに従業員やパトロール隊、スキークラブのかたなどみんな親切に対応してくれることなどは、白倉ならではのいい点ではないでしょうか」

ゲレンデの 増設を

次に町外のかた二人に、白倉スキー場を利用している感想を伺ってみました。

まず河北町の荒木幸雄さん(28才)に伺いました。荒木「友人に連れられて、初めてこのスキー場に来ま

したが、ファミリー的でたいへんいいですね。長く変化に富んだスロープは僕たちにはピッタリです。リフトもあまり待たないで乗れるのでいいですね。

ロッジや休憩所では、比較的安く食事ができるので経済的にも助かります。

しいて言えば、この一本のスロープはいいとして



河北町 荒木 幸雄さん

も、飽きがこないよう将来は、ゲレンデを新たに設けることも誘客対策のために必要でしょうね。

それに、ここまでの道路をもっと整備すべきではないでしょうか」

道路の拡幅を

ぜひ

次に大江町の鈴木いく子さん(22才)に伺いました。鈴木「昨シーズンは五、六回来ました、今シーズン

は初めてです。キャリアは二年目。距離的に近いし、蔵王みたいに込まないところがいいですね。

朝日町内に入ってきて来ると所々にスキー場への案内板があつて、初めて来る人にも目でわかります。ただ立木から道路が狭く、急こ



大江町 鈴木いく子さん

う配のうえに曲りくねっているの、チェーンはぜひとも必要になります。立木まではチェーンなしで来れるのに登り口からチェーンをつけるのは少々面倒ですね。

昨シーズンは八〇〇坪リフト、今年はロッジと年々整備され、白倉スキー場の魅力が倍増しました。

「また来たい」と言われるように

白倉スキー場開設以来スキー場管理組合長を務めて

いる阿部勝蔵さん(64歳)に、地元を代表して伺ってみました。

阿部「かつては豪雪に悩まされ続け何か雪を利用できる方法はないものかと、冬が来るたびに痛感したものでした。そしてスキー場は区民にとって一つの大きな夢でした。

ややもすれば過疎の波に押し流されそうになった白倉を、町民の温かいご支援により、スキー場の設置、町水道、道路舗装など着々と整備が進められ、新しい村に生まれ変わりました。

スキー場が開設された五年前を振り返ってみますと、スキー場の運営なんてどんなものなのか、果たしてうまくいくのかどうか……という不安と、従業員も四人程度しかいらなく、どう

も区民のまとまりに欠けていました。しかし一昨年チエリフトが設置されてか



スキー場管理組合長 阿部 勝蔵さん

らは、客数がぐんと増え、従業員もかなり必要になってきたことから、ようやく

本格的にやっていこうという団結心みたいなのが出来てきたようです。

以前男は全部出稼ぎだったわけですが、今は、平日の場合男九人と女四人がスキー場関係の仕事に就いています。休日ともなると女の人五、六人が手伝わないとこなせないような状態です。

出稼ぎ解消ということもありますが、前は冬になる

と、女、子ども、年寄りだけが残され、雪の問題など不安だったが、こんどは男たちが村にいたのでたいへん心強くなりました。

白倉としての対応は、従業員をはじめ区民一体となつて、ほかのスキー場にはない温かいもてなしをやり、「また来てみたい」と言われるような白倉スキー場にしていきたいと思ひます」

憩いの場として ご利用を

ロッジしらくら支配人 渡辺 友吉



緑地等管理中央センター(ロッジしらくら)の建設にあたり、町当局はじめ各関係者の絶大なるご努力に対しましては、心から感謝申し上げます。このりっぱな施設を、たいせつに有効に区民一体となり、皆様に親しまれる憩いの場として、年中を通じてご利用いただけるよう努力してまいります。皆様の温かいご指導とご支援をよろしく願ひいたします。従業員一同心からのサービスに努めます。できるだけ多くのかたがたにご利用いただけるようお待ちいたしております。



連日にぎわっている「ロッジしらくら」

●12月定例町議会から

町道改良工事費などを補正

一般会計 三四億八、一五〇万円に

十二月定例町議会は、十二月二十一日から五日間の日程で開かれ、町長の一般町政報告のあと補正予算など十五案件を審議、原案通り可決して閉会しました。おもな内容は次のとおりです。

町長の町政報告

(要旨)

今年度の一般会計の決算見込み状況についてですが、交付税(普通分)については、給与改定の見送りによって決定額より一、四六〇万円ほどの減額となり、人件費の給与改定に不用額が生じたとしても、今後に予想される熊ノ山用地買収費や病院会計への繰出し金など、財源確保には容易ならざる誠に状況にあります。

を進めています。国の行財政改革、さらには国税の減収などにより、地方交付税の概算要求額を見る限り、対前年比一三・四割ほどの減額率となっており、投資的事業への一般財源額は大幅に圧縮なるものと思われ誠に困難な予算編成作業になると考えられます。これらの状況を踏まえて情報的確な収集に努めるとともに、経常経費の節減、補助・負担金の見直し、各種使用料などの改定を行い、投資的事業に充当していく方針です。

次に企画関係について申

し上げます。

西中跡地とその西側にある熊ノ山台地も含めた開発構想づくりについては、西部振興協議会と連係をとりながら検討してきたところ。熊ノ山には、山振三期の事業により、若者たちの寄りどころとなる健康増進施設の建設を予定しており、現在、地元のかたがたの協力を得ながら用地の折衝を進めております。

次に建設課関係について申し上げます。

町道白倉線災害防除工事、四ノ沢送橋線舗装工事、大暮山線特殊改良一種工事などを発注し、工事は順調に進んでいます。災害復旧工事も、八ッ沼大沼線をはじめそれぞれ契約を締結し、実施しているところで

す。産業課関係についてですが、団体営農地造成工事(長根、能中、三中区)、新農業構造改善事業(西長根地区)、第三期山村振興対策事業(緑地等管理中央セ

可決された案件

- ▽固定資産評価審査委員の選任について(三中甲五二〇一、峯田憲一氏)
- ▽町特別職に属する者の給与に関する条例の一部改正について
- ▽町国民健康保険条例の一部改正について
- ▽昭和57年度一般会計補正予算(歳入歳出それぞれ三、八〇〇万円を追加し、三四億八、一五〇万円としたもの)
- ▽町民白倉スキー場会計補正予算
- ▽国保会計
- ▽老人保健会計予算
- ▽緑地等管理中央センターの設置及び管理に関する条例の制定について
- ▽町営住宅条例の制定について
- ▽災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正
- ▽町立小中学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ▽町医療給付条例の一部改正について
- ▽農村総合整備モデル事業農業集落道大沼勝生線改良工事請負契約の締結
- ▽準用河川粧坂川災害関連工事の請負契約の締結
- ▽第九次道路整備五カ年計画の策定に関する決議
- ▽電々公社改革に関する意見書の提出についての請願継続審査
- ▽人事院勧告の完全実施に関する請願継続審査
- ▽大沼分校屋外運動場新設にかかわる請願採択

請願

ンター)などが完成しています。病院事業については病院改築問題調査研究協議

会を設置して諮問し、五十八年六月に答申していただくことになっています。

一般質問

質問と答弁のあらまし

町行政を 質す

■阿部庄次郎議員 今日の行政の行き詰まりは、国だけのものではなく、地方行政でも例外ではない。

当町としての財政面、職員指導面、病院問題、朝日分校問題、その他当面する諸問題に対しての斬新なるアイデア発掘について、所信を問う。

■町長 ご指摘の件については、昭和五十八年度中に町総合開発基本構想の見直しを図りますが、その中で各々対処いたします。

職員指導は、町内企業代表者並びに有識者の方々と

の個々面接の方式をとり、常に就任当初の宣誓にかえり、自らの姿勢を正すべく指導しております。

病院問題については、現段階で独立採算の見通しはありませんが、町民福祉という立場からすれば、年間五千万円程度の繰出しはやむを得ないのではないかと考えております。現在、町民の代表者の方々といろいろ協議をさせていただいて諮問を願っておりますのであります。朝日分校については、そこで学んで良かったという校風づくりに、積極的に協力していきたい。

今後とも、町民結束のもとで、英知を求めアイデアづくりに尽力したい。

予算編成の 基本姿勢は

■堀敏男議員 臨調答申、行革絡みでの予算編成方針について伺いたい。

昭和五十五年町内商店有志によるショッピングセンター構想の経過と、町の指導について伺いたい。

■町長 昭和五十八年度予算編成は相当に厳しいものがあります。厳しいなかでも、町民の活力を奪うような予算編成であってはならないと考えます。

新規事業については、国、県の動向を見て、財源の見通しがつくまでは、当初予算計上を差し控えたい。継続事業については停止することはできない。

経常経費の徹底した節減、町単補助事業の見直しなど、職員の努力により乗り切って参りたい。

ショッピングセンターの件について、当時は町民の方々の構想ということとで期待しておったのでありますが、実際はなかなか困難な状況であります。これまで数回にわたり指導してきたのでありますが、行政指導としての限界もあり、あまり介入できない実情であります。

農政と年金制度 の改正について

■清野三吉議員 農業に対

する基本的な考え、転作目標、りんご産業の方向について伺いたい。

昭和五十八年の農業者年金制度改正と受給資格について伺いたい。

町関係基幹道路整備促進事業について、町民総参加の採択を得られたが、町としての対応を伺いたい。

■町長 農業問題は古くから難かしいものと常識化されております。今日における農業は、もともとしぐれた先端産業であると理解しております。農業は、循環産業として、将来とも人類

発展の基盤をなすものと考えます。

現在、世界の耕地は荒れておりますが、日本はバランスのとれた経営がなされておるものの、さらに有機農業に徹した耕地づくりを進めるべきと考えます。それにより、良質なリンゴづくりをし、可処分所得の高い経営をすべきと考えておるところであります。

主要地方道山形・朝日線は、遅々として整備が進んでおりますが、今回町民全体の問題として資金の確保にあたるということに感激するとともに、町としても積極的に対応すべきと考えております。

■産業課長 転作面積の各市町村配分は、一月中旬頃の内示と聞いております。当町は、九〇ヘクタールと推定しております。

今後とも本事業は継続されると予想されますが、樹園地造成ということで対処して参りたいと考えております。



■農委局長 年金受給要件は、六〇歳で農業経営を移譲することとなっております。そのうちの一要件として、五十九歳で三〇㌧を耕作し、他の農地を全部妻に貸し付けした場合も受給資格があったのですが、昭和五十八年一月から廃止となるものです。

町独自の財源 確保策はないか

■白田太郎議員 財政再建と行革への対応策、並びに町独自の財源確保対策をどう考えているか。

町職員の給与改定は、例年県人勸を完全実施してきたわけですが、今回もその方針に変わりはないか。

■町長 財政問題については、前のご質問で申し上げたとおりです。自主財源創出については、やりたいがこれというものが見当らない。舟下り観光、競艇試験場の設置等を検討しましたが、具体化されない現状であります。

人勸については、国の決定に基づくもので、財政が非常に厳しい折、お互いに痛み分けということで、また、人勸実施した自治体に対しては、交付税減額等のペナルティ制も打出されると聞いておりますが、こうした現状では実施でき難い状況と考えております。

夜間照明施設の 増設を

■堀重雄議員 現在の夜間照明施設を、二面同時に使用する場合、一方の照明度が少なく、照明灯増設の希望が強いが、来シーズンに迎える考えはないか。

■町長 光の微妙な変化ということもあり、ご要望の件はよく理解できますが、結論から申し上げます、現在の施設に増設する考えはありません。しかし、昭和六十一年頃をめどに、緑ヶ丘公園に夜間照明施設を取付けられるのではないかと考えておるところであります。

人事院勧告 について

■安藤貢議員 人勸凍結によって受けるであろう種々なる影響と、特に、財政再建には、国家全体から見ると、害にはなっても役にたつとは考えられないが、見解のほどを伺いたい。

■町長 国における政治施策は、国民の支持を受けてやっておりますが、財政事情の悪化ということで、こうした事態となっている。国会で決めた事に従わざるを得ない心境であります。

しかし、これは公務員だけに影響を与えるのではなく、民需にも影響があるということとは理解しております。原則的には遺憾と思いますが、そうせざるを得ない事態であることをご理解願いたい。

障害児の保育と 療育施設の設置

■鈴木功議員 心身に障害を持つ子どもに対して、そ

れぞれの障害の種類、程度に応じて適切な保育対策が必要と思うが、その障害の早期発見対策と、療育施設設置の考えはないか。

■町長 心身障害者の自立、早期発見対策として、乳幼児期(三カ月児、十二カ月児、一歳六カ月児、三歳児)の検診をそれぞれ実施しております。妊婦に対する指導は、保健婦を中心に、母子推進員の協力を得て、各戸訪問しながら対応しております。対象となる母親が、積極的に受検されることを願っております。

専門の療育施設の件であります。専門の療育施設については、五年ほど前ありましたが、申込み者が少なく、実現までに至らなかったためであります。基本構想見直しの中で検討したいと思っております。

墓地公園の 対策について

■長岡健一議員 急傾斜の山腹崩壊防止施設の増設と、ブナ、ケヤキによる防止

さく設置の考えはないか。

白倉スキー場年間利用策として、人工雪プラスノー設置の考えはないか。

町の墓地公園対策に遅れをきたしているが、今後の対策について伺いたい。

■町長 急傾斜対策は、その都度対応しておりますが、ご指摘のような大木になる木を植えることは、専門的立場からすれば、逆に崩壊を誘発する原因となりかねないということです。人工雪については、アイディアとしては理解いたしますが、その効果に対しては疑問を持っております。

墓地公園計画については、五年ほど前ありましたが、申込み者が少なく、実現までに至らなかったためであります。基本構想見直しの中で検討したいと思っております。

農工商一体の まちづくり

■若月清五郎議員 農工商

一体の町づくりを唱えてきたが、今後の農民の意識の把握、里山開発、今年産米の品質低下による対応策、



ワイン塾

⑩ ワインの保存

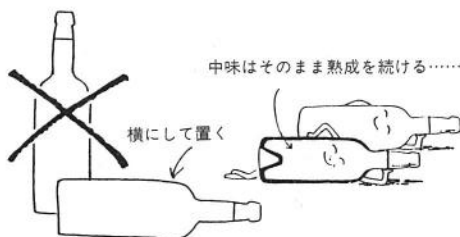
どんなに良いワインでも保存が悪ければ、品質は低下し、さらに悪ければ飲めないような不良品になってしまいます。ワインの保存には、六つの条件があります。

■保存の条件

- ① 直射日光の当たらない暗い場所に置く。
- ② 12℃～18℃ぐらいの低温の場所に置く。
- ③ 適当な湿度(75%)があるところに置く。
- ④ 振動がない場所であること。
- ⑤ 異臭のないこと。
- ⑥ 必ず横に寝かせて置くこと。

特にワインは栓を抜くときまでは、かならず横に寝かせておきます。立てておくと、乾いたコルクを通して空気が入りすぎ、酸化を早めたり、乾きすぎて栓が抜けにくくなってしまいます。飲み残しは小ビンに満量になるよう入れかえ冷蔵庫に入れておきます。

一週間ぐらいはだいじょうぶです。また残ったワインは料理にも利用できます。



中味はそのまま熟成を続ける……

横にして置く

農工との関連、企業誘致並びに、大型店舗進出への対応策について伺いたい。

■町長 六月に実施した調査によれば、三二哲の方が経営規模拡大の意向でありました。里山開発については、周辺の農道網の整備促進と有機質土壌づくりが必要と考えております。

産米の品質低下については、第二種兼業農家の増と密接な関連があり、技術指導を含め指導にあたりたい。企業誘致については、県内工業団地の動向、東京

■鈴木正二議員 町百人討論会において、「チャレン

産業振興策に

ついて

連絡事務所と密接に連絡をとり、先端技術産業の動入を図り、一方、既存誘致企業の育成に尽力したい。

大型店舗進出については、決してマイナスにはならないと考えておりますが、実際問題として望みが薄いのではないかと考えておるところであります。

ジする農工商の町」なる提言がなされたが、地方の時代にふさわしい、定住できる職場の確保、地場産業の開発についてその展望を伺いたい。

■町長 百人討論会でなされた提言は全く同感です。IC・セラミックス産業等の進出を期待しながらも、農業経営形態の抜本的見直しと、当業者の根気強い努力と創意工夫を期待し、その振興策を町民共々検討したい。

赤星病対策に

ついて

■近衛正雄議員 公共事業実施過程において、受益者が、町職員に対し不信を抱かざるを得ないことが時折あるが、その指導策について伺いたい。

りんご産業と赤星病対策、販売過程の指導について伺いたい。

■町長 ご指摘のことに對し、町の事業としてはほとんどないと思います。

職員には用地交渉等の都度、覚書きを提出させている。国県道の場合、県職員との関係で誤解が出たのではないか。

赤星病対策については、イブキを公共施設から全部除去しており、盆栽用とか、出店等に対しても対応をしておるところです。

流通過程については、いろいろ問題があるようですが、関係機関、団体とも連携をとり対処したいと考えております。

町営住宅

清水ハイツが完成

～3DKのモダンな住まい～



昨年8月から西町草林に建設が進められていた町営住宅「清水ハイツ」がこのほど完成。

4月1日からの入居をめぐりに今入居者を募集しています。

ハイツは3階建て12戸分ですが、1種と2種に分かれ、ともに3DKバストイレ付のモダンな造り。環境は静閑で日当たりもよく、快適な住み心地が保証されそうです。

入居は、収入が基準以下で住宅に困っているかた、と限られていますが、若い勤労者世帯などに活用されるものと期待されています。

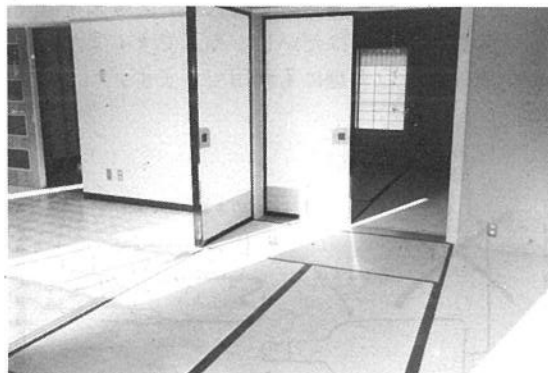
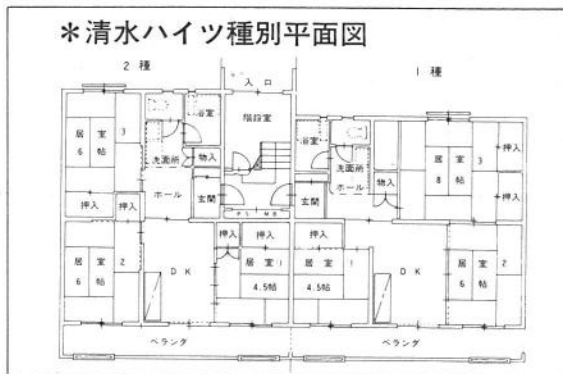
*入居のごあんない

- 月家賃／1種(73.38㎡).....26,000円
2種(67.86㎡).....21,000円
- 敷金／家賃の3ヵ月分に相当する額。
- 資格／①現に同居し、または同居しようとする親族があること。
②収入月額が、1種87,000円を超え、141,000円以下、2種87,000円以下であること。
③町内に住所、または勤務場所を有するかたであること。
- 申込み／申込書の請求及び提出は
朝日町役場建設課へ
☎7-2111(内線232)

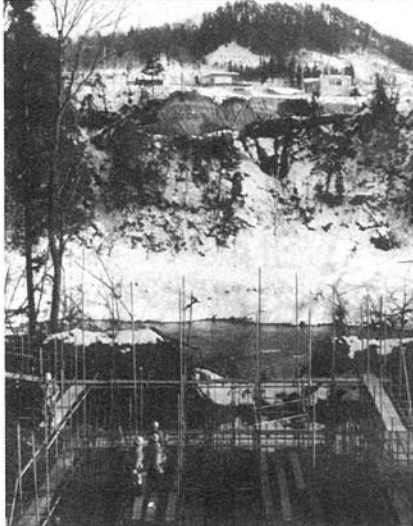


▲きれいなダイニングキッチン

*清水ハイツ種別平面図



▲明るい居住空間が魅力

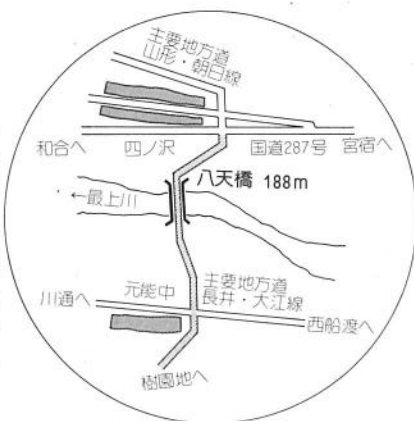


県営農道整備事業

八天橋架橋に着手

完成目標は60年度

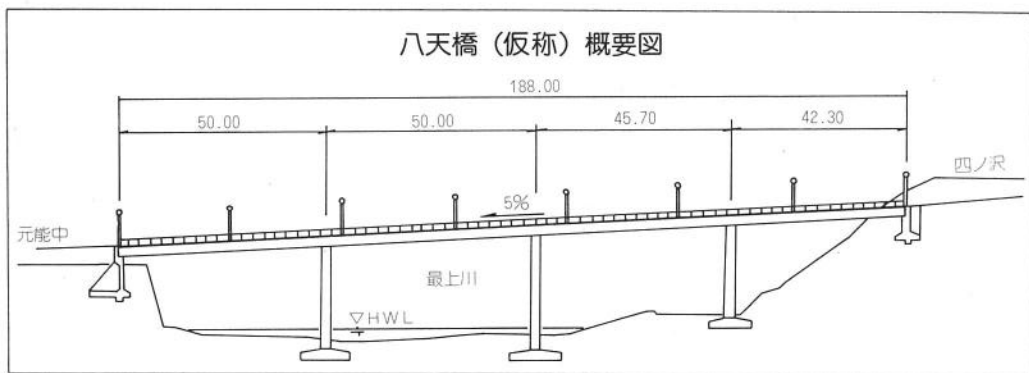
* 県営農道整備事業概要図



能中地区に全体で二、三六九の農道を整備する県営一般（山村基幹）農道整備事業の二期地区工事が、昭和五十五年に着工。その中に入っている八天橋（仮称）の架橋工事がこのほど始まりました。道路整備は約六割がた進み八天橋の架橋が残された大きな事業となっています。これは、国道二八七号（四ノ沢）と主要地方道長井大江線（元能中）を結ぶもので、延長一八八m、幅員は歩道を含み七・二五m、傾斜度五割と、こう配の強い橋といえます。

今年度は兩岸の橋台が出来、五十八年度には橋脚建設に主力がおかれます。しかし、架橋を含む二期地区工事には今後約五億円の予算が必要で、目標年度に完成させるには、町をはじめ地元の強力な運動展開が望まれます。

八天橋（仮称）概要図



葉タバコ収納終わる

今年の葉タバコ収納は、1月7日から18日までで全部終了しました。

当町の葉タバコ耕作者は葉タバコ耕作組合（白田光市組合長）の119名で、耕作面積は約50ha。昨年より6%減反されたものの売上代金の総額は2億310万円と多く、1戸平均でも170万円台になっています。これは台風やヒョウ害に遭ったにもかかわらず、耕作者の品質管理への努力が実を結んだものといえます。

葉タバコは大江町にある専売公社の収納所に納められた





壮年層の組織と活動を考える

●豊かな経験と実行力を生かす

最近、壮年層の組織化と地域活動の必要性が強調されています。

壮年層のうち、特に男子の組織化を図り、活動を盛んにすることは、地域づくりの力ナメといえます。元町の「十日会」、大谷の「峯友会」の実績を中心に、そのあり方を考えてみたいと思います。

町内の

壮年組織の実態

町内には地区を単位とした各種の組織があります。

主なものとしては、子ども会、青年団、若妻会、婦人会、長寿クラブなどがあげられます。

このほか、壮年層が中心となっている組織として、PTA、各種生産団体、消防団などがあり、それぞれ

の目的で活動しています。

中央公民館では、壮年男子の組織の育成に力を入れていますが、その実態を把握するため、昨年六月、区

単位で活動している壮年男子の組織と活動状況について調査を行いました。

その結果、全然ないというのは十部落程度で、大部分の部落にはなんらかの組織があることがわかりました。

大ざっぱに別表のように

分類してみました。活動の内容はスポーツ・レクリエーション行事を中心に各種研修会、神社の祭礼など多岐にわたっています。

調査した中から二つの団体を取り上げ、その活動の様子を紹介して参考に供したいと思います。

部落振興のための

推進役として

元町区の十日会は、同区に居住する三十歳から六十

歳までの男子を対象に組織され、会員の研修と地域の

発展を目指して昭和五十年三月発足しています。

発足のきっかけは、二十五歳ごろまでは青年団で学習や地域活動ができるが、それ以後になると、女子の

場合は若妻会や婦人会の組織があり学習や地域活動が継続できるものの、男子にはその機会がないということでした。

同会の活動は隔月(奇数月)の十日を研修日と定め、三十八名の会員が夕食を共にしながら「活力ある部落づくり」を中心テーマに研修を続けています。

十日会という名前もこの定例日からきたもので、研修会は現在まで四十数回を重ねています。

昭和五十五年に区から「元町区振興計画」策定の諮問を受けました。会員は地区の現状を調べ、課題を掘り起こし、計画案を練りあげて翌年三月答申しています。「つくりあげよう人情豊かな活力ある元町を!」

という副題のついたこの振興計画書は、①生活環境の整備②産業の振興③社会福祉の充実、の各項目について達成すべき目標を示しています。

元町区ではこれを受けてこれまで、排水路、貯水槽、ゴミ集積所などを計画的に整備し、この一月二十三日には念願の「もとまち広場」を完成させました。

混住集落の融和と

親睦を目指して

峯友会は大谷第五区(通称峯壇)に居住する三十歳から五十歳までの男子五十三名で昭和五十二年十月に発足しました。

同区は職業が多様化し、いわゆる「混住化集落」と



壮年層は地域の中核的存在だ（57年中部地区ソフトボール大会から）

なり、住民同士の対話や連帯感が薄れかけていました。

こうした現象に壮年層が懸念を持ち、地区内相互の

融和と親睦を目的に会が結成されました。

発足にあたっては、区長はじめ区役員の理解と指導を得、区と一体となった事

業を展開することを基本にしています。同会にはスポーツ・レクリエーション部、教養文化部、奉仕部の三部があり、研修会や公民館の庭園整備、秋葉山への道路整備などの奉仕活動を行っています。

また、同区内にある三十三歳以下の組織である青峯会や若妻会などと連携して、運動会、ビアガーデンなどの事業を実施し、地区の親睦と連帯感の醸成に努めています。

そのほか、第五公民館の運営委員会にも加わっており、昨年二月に完成した公民館（多目的集会所）の建設や、元町十日会同様に区の振興計画策定、区規約制定に大きな力を発揮しています。

地域のカナメとしての壮年組織

十日会、峯友会は、二つとも地域活動が高く評価されて、昭和五十六年、五十七年に町から賞詞を受けています。二つの団体に共通

している点は、区と一体となつて地区問題に取り組んでいること、同じ地区にある組織の中核となっていること、良いリーダーがいることなどがあげられます。壮年という年齢層は、これまでの経験をふまえた判断力と行動力を兼ね備えており、その行動には厚い信頼がおかれるのが常です。

しかも若者の行動も理解でき、同時に年配者の気持も理解できる位置にあります。また、いろいろな職業の人がおり、それぞれ専門的な知識を持っていることも壮年の大きな魅力です。このようなことから壮年の組織は地区のカナメとしての重要な活動が期待でき、その活躍が望まれます。

どこの地区にも壮年組織を

町ではこれまで、壮年男子の地域活動を進める目的で、壮年ソフトボール大会や成人講座などを行ってきました。

*地域における壮年団体の実態

（S57年6月現在）

目的	地区	中部地区	西部地区	北部地区	計
地域づくりと親睦		14	7	14	35
スポーツと健康		9	1	6	16
その他		3	2	1	6
計		26	10	21	57

しかし、ソフトボールがきっかけとなつて出来た組織の中にはまだ地域活動に結びついていないところも多く、これらの芽が壮年自身の自覚と区のリーダーの理解を得て成長し、地域づくりの原動力となることを願っています。

どこの地域にも壮年組織が出来て、充実した活動が展開されることを期待したいものです。

△編集／教育広報委員会▽

上郷ダムに

白鳥が飛来

左の写真は、一月二十八日上郷ダムにかかる昭和橋の上流約三百呎の左岸にいる白鳥を撮影したもの。

松程の鈴木新蔵さんの話によると、白鳥は三年ほど前から来るようになり、最初の年は三羽、翌年は五羽、今年は八羽と、年々飛来する白鳥の数が増えている。そして今年は、一月初旬に飛来してから一カ月以上にもなるということです。



町民のひろば



●ご意見・話題をお寄せ下さい。— 広報係 —

農村に伝わる民具民芸品展

またたび細工が知事賞

☆夏草の阿部小七さん



作品づくりに励む阿部さん

一月二十二日から五日間山形市の山形松坂屋で開かれた「第十回農村に伝わる民具民芸品展」で、夏草の阿部小七さん(76歳)が県知事賞に輝きました。

これは、県生活改善実行グループ連絡研究会が主催し、農村の文化や生活技術の伝承、見直しを図ろうと開いているもので、県内各地から、わら、つる細工など三千八百点余りが出品さ

れました。

当町からは、高齢者センタ―わら工品部の七名の作品二十点を出品。阿部小七さんのまたたび細工「ふご」がみごと県知事賞に選ばれました。阿部さんが知事賞を受けるのは一昨年に続き二度目のことです。阿部さんは「年をとってあまり作れなくなったが、何か手先を使う趣味を持つことが生きがいになっていて、お陰様で丈夫です」と感想を語っています。

また本展の実演コーナーでは、西町の阿部惣吉さんがわら細工の工程を披露、人々の目を引いていました

区切り

なんとまあ、時の流れの早いこと。

もし、一年という区切りがなかったら、当然、元旦、立春なんていうものもありません。人間は生まれてからずっと日数だけ数えることになり、私なんかはまだ一万四千二百何日目ということになります。なんとも味気ないものです。

やはり一年という区切りがあってこそ、希望を新たにすることができなのです。

秋おそくの私ら、年に一度の泊りがけの宿で赤裸々な告白をし合います。他人となるとどうしても、ある壁のようなものが出来て、ざっくばらんに話し合えないことがあります。

そして理解し合おうとする努力ががえってマイナスの要素となって感情の行き

おじゃまします

知らせたいこと、言いたいことあったらデンワ下さい。うかがいます。 ☎ 8-2424 7-3436

違いを生じてしまします。灰色の心を温泉で流し、明日からのエネルギーを新しくする。暮らしの区切りです。

「☆組の社長様のそばにいます、おいしいものばかりごちそうになれるから、今度からいつでもそうしようね」
「ウン、私も絶対にそうすることに決めた」
「ワレらでは鼻血も出ないもんね」
お友だちのご主人さまの前で平気でこんなこと言えるのも、人生の区切り〇〇の気節に入っているからであります。そう

私らその気節の「しゅん」であります。こういう時期は短く区切られるといえます。

細切り区間に喜怒哀楽をびっしり詰め込んで、今年もまた、やわらかい春を迎え入れる扉がもうすぐ開かれます。

(鈴木かつ子広報委員)



朝日分校を卒業後、専門
学校で経理を学び、現在宮
宿の俣ヒグチに勤めて二年

ははたけ 若人

「年代物の掛け軸をきれ
いに仕上げた時など、時を
越えて作品に触れられたよ



目になる。

「カセットテープを聞い
たり歌うのが好きで、思わ
ず歌が出てしまうという感
じです」とたいへん明るい。

「休みの日は、ショッピ
ングに出かけるほかは、だ
いたい家にいて祖父と過し
ています」。よく、おじい
さんや家族にプレゼントし
たり、逆にプレゼントされ

たりで家族仲がよい。

「スポーツはあまりやら
ないけど、冬になると、町
中がスキーの話題でいっぱ
いになるので、私もやって
みたいなと思っています」

理想の男性像はと聞くと、
「父のような人がいいで
す」と答えてくれた。
(祖父、両親、弟と5人家
族。21歳)

『しぜんに歌がこぼれる』

本町佐藤 豊 子さん

『夢は自分の店を持つこと』

四ノ沢 清 野 則 昭さん

(高橋久子広報委員)

うで、とても満足しますね」
と語る彼は、朝日分校を卒
業して、寒河江の片桐表具
店に勤務。技能検定二級も
取得して、安定した実力を
発揮している。

「今は、スキーに凝って
ます。大自然に触れ雄大な
気分になるのが魅力だね。
おもに白倉スキー場で滑っ
ているんですけど、もっと

規模を大きくしたら、町外
からも大勢来ると思いま
す」と町にける期待も大
きい。

ほかに、プラモデルを作
ったり、ギターも得意。
「将来はぜひ自分の表具店
を持ちたい」と夢を語る。
(祖父、両親、姉と5人家
族。23歳)

米寿おめでとう！

*十九名に赤いちゃんちゃんこを贈る

去る一月十九日、新年を
迎えてめでたく米寿(八十
八歳)になられた十九名の
お年寄りに記念品を贈り長
寿を祝いました。

これは、町の社会福祉協
議会に寄せられた善意をも
とに毎年お祝いしているも
ので、この日は小林町長ら
三役が家庭を訪問、賀詞と
赤いちゃんちゃんこを贈り
ました。

米寿を迎えられたかたが
たは次のとおりです。

() は世帯主

- 西町 鈴木喜一郎(俊雄)
- 西原 阿部 源蔵(本人)
- 古 榎 阿部とみゑ(秀夫)
- 大 滝 後藤オミナ
(斎藤久三郎)
- 夏 草 林 よし(清光)
- 八ッ沼 登坂 高頭(本人)
- 太郎二 鈴木忠太郎(庄松)
- 立 木 阿部与三郎(文雄)
- 〃 安藤 志ん(重美)
- 松 程 鈴木 小七(清夫)

- 大谷五 長岡みよの(正二)
- 大谷六 白田 まん(八郎)
- 中 沢 白田増五郎(孝志)
- 真 中 鈴木幸次郎(本人)
- 栗木沢 遠藤たつよ(政勝)
- 〃 遠藤 角治(満)
- 〃 明鏡荘 阿部 みん
- 〃 結城 やす
- 〃 佐藤 おうら



喜びの米寿を迎え記念品を受ける(遠藤角治さん宅で)

第5回

青年洋上大学に参加して

第5回青年洋上大学が、去る1月7日から16日間にわたって行われました。わが町からは6名の青年が参加。船内研修をはじめマニラ・香港に寄港し視察するなど貴重な体験をして帰国しました。

東京晴海港を先輩の声援を受けて意気揚々と出発したのだが、私たちを最初に迎えてくれたのが、想像以上に厳しい荒海であった。船長の話を聞くと、今回ほど荒れたのは記憶にないと言っておられた。

出航して二日目、船長招待パーティーが催された。私も一組のテーブルに出席し大いに盛り上げようとしたが、船酔いをしていて、目の前にある飲み物、食べ物、それを口にするのができず、それどころかビニール袋に吐いてしまった。

これから十五日間どうしようかと不安になったものだった。

洋上大学で初めて行われたパネルディスカッション。テーマは「おらだてで築こう山形の未来」と題し、山形の現在・過去・未来について討論された。

講義は一日に二時間二十分ずつあり、毎日、私たちより数倍人生経験のある先生がたから講義を受けた。

一月十二日、バシー海峡を渡る日である。この日は

曇りで風は強かった。正装でオーブンデッキに集合し厳かに洋上慰霊祭がとり行われた。

私は平和ということばをあまり強く感じてなかった。

しかし船酔いして苦しい時、過去に、いつ死ぬかわからない運命の中で、日本の勝利を願ひ散っていった若者たちは、この海峡をどんな思いで通ったのかと思うと……我々はほんとうに幸福なんだと身にしみて感じた。

一月十三日、船酔いにも慣れ全員マニラに上陸。一人一人にサンバギタの甘い香りのする首飾りをつけてもらい、歓迎の演奏の中を組ごとのバスに乗りマニラ見学をした。

やはり貧富の差が激しく寄港地に着くたびに物売りが来て「千円千円」と売っている姿が今でも思い出される。

学校訪問ではすごい歓迎を受けた。片言の英語を使い身ぶり手ぶりで話をしたが、もう少し流ちょうな英



鈴木 芳男さん
(大隅・27才)

語が話せたらなあと思った。そのほかにも、洋上大運動会、船まつり、ゼミナール、クラブといろいろな事があったが、この洋上大学で、もっとも友情の深まりや団体生活の意義を知らされたのは、さよならパーティーだった。

私はこの洋上大学に第五期生として参加させていただき、あの限られた船内で大自然の驚異と団体生活の厳しさ、友情のすばらしさを知らされた。外国を自分の目で見、肌で感じとった十六日間。世界の広さそして、私たちの住む国、地域のすばらしさを教えられました。

最後に、この洋上大学が六期、七期と長く続いていくことと、わが町から多くの青年が参加されることを願うペンを置きます。

(鈴木芳男記)



白田 誠治さん
(大沼・25才)



多田 俊司さん
(栄町・21才)



高橋 久子さん
(水本・21才)



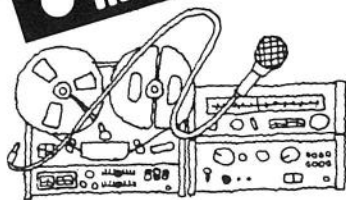
白田 健治さん
(大谷五・23才)



長岡 良和さん
(太郎一・21才)



●情報室



*新刊書あんない

(町立図書館)

▷歴史の裏ばなし(村上元三)
▷悲劇の宰相・田沼意次(江上照彦)
▷自分を嫌うな(加藤諦三)
▷気くばりのすすめ(鈴木健二)
▷晩香波の愛―田村俊子と鈴木悦一(工藤美代子)▷愛子いとしや(川口松太郎)▷ママおかわりっ(小林カツ代)▷読書の旅―愛書家に捧ぐ―(森本哲郎)▷家庭教

育に今なにが必要か(竹内均ほか)▷とんと昔出逢いの旅(山口崇)▷暗渠の連鎖(森村誠一)▷青が散る(宮本輝)▷男の老後・女の老後(新福尚武外)▷自民党戦国史―実録・権力の研究―(伊藤昌也)▷装いせよ、わが魂よ(高橋たか子)

*求人あんない

●東北コーオン(☎7-3371)
40才までの女子10名募集。詳しくは当社まで。
●日山製作所(☎7-7259)
前田沢に新工場が完成、スピーカー部品を生産。募集は35才までの女子で、検査員若干名と組立員10名。
詳しくは当社まで。

●町民卓球まつり成績(1/23)

■団体 優勝/常盤, 第2位/送橋, 第3位/三中

■個人優勝

○小学男子/葦沢克己(西原)
○〃女子/武田早苗(栄町)
○中学男子/阿部孝昭(常盤)
○〃女子/斉藤由美(常盤)
○一般男子/鈴木憲二(三中)
○〃女子/阿部千尋(常盤)
○シニア男子/柴田徹(常盤)
〃女子/橋岡ユキ子(元町)

●町民バドミントン大会成績(1/30)

■Aブロック①バドキチ②除雪
③役場 ■Bブロック①病院②東北コーオンA③上郷便り ■Cブロック①朝日分署②スクウェア③宮宿青年団

●町家庭婦人バレーボール成績(2/6)

①水本②大谷③三中, 松程



(59)

如月の空あかねさし寒梅雪に香れども上弦の月影白く、かすみに浮かぶ太子堂春は名のみ風の寒さよ。春の晨の花かげに秋の夕の月かげにいとわが子よわが孫の健やかなれと祈りつつ、老婆の髪に霜ぞ降りけり。
宮宿の大通り大町の十字路を北に進むと約八〇歩右手に神さびた杜が見える。これが聖徳太子を祭る太子堂である。
間口二・五間、奥行二間、正面の緻密なる彫刻、柱の複雑なるのみあと、社殿の古さを物語っている。
太子堂は元、清水に建立されていた。別当柴田七郎兵衛氏の記録によると、「弘化四年末三月十七日 右太子堂林畑開発ノ事」とあり今から一三〇年ほど

前太子堂付近が盛んに開墾されていたのである。では何故宮宿を離れた清水に太子堂を建立したのか。その理由の一つは朝日岳の参道だったからである。左沢、和合、四ノ沢を経て宮宿より清水に出て、五反の渡しを船で渡り八ッ沼の假堂に上った。柴田家の文書に

宮宿『太子堂』

「白衣の道者は清水より五反の渡しを越えて假堂に至る……」とあり、五反の渡しは清水の渡し場であり、假堂とは現在のむつみ公園付近である。第二の理由は俗界を離れた清浄の地を選んだことと、万一火災等の場合類焼を免がれるためであったと考えられる。

清水にあった太子堂は今から約二六〇年前の宝永年間の再建と伝えられるが確証はない。その後明

治二〇年ごろ現在地に再建したものである。ところが、現在地には先客お稲荷様が祭られていた。更に第二のお客様が参られた。それは故阿部文作氏寄進による弘法大師のご入来であった。現在聖徳太子を中心として、稲荷様、弘法大師の三体が仲良く合祀されている。

聖徳太子像は身高一・一丈一木造り下地は黒漆、その上に金銀の三段ぬり更に見事な唐草模様を重ねた麗しいご尊像である。製作は江戸初期と推定される。

弘法大師は身高二・三寸の寄木造りである。民間信仰としては工匠の神、学問の神、商売繁昌の神とされ、例祭は五月三日である。(文/広報委員長岡幸助)



就職や進学で上京するかたへ

東京連絡事務所だより No.13

共通一次試験も終わりのよいよ受験シーズン本番を迎えます。また、就職が決まり上京する方々には、本人はもとより御身内の心配は計りしれぬものと存じます。そこで今日は、上京以来二十五年の経験から私なりのアドバイスをお伝え致します。

私が上京した三十年代と違い、マスコミの発達で地方も都会もそう変らない現代に生きる若人のこと、『案するより生むがやすし』と申しましてそう心配も不用かと思いますが、老婆心ながら記して見ました。

(1)就職の場合
①会社の所在地・電話番号は、必ず持ってくる。
②下宿先は会社から世話してもらふこと。(会社の寮等に入れるならベスト)
③就職したら一年間位は、ただもくもくと仕事のみにあけくれること。
④なるべく夜は、出歩かな

いこと。

(2)進学の場合

①学校の所在地を再度確認して、一度学校に行つて自分の目で確かめる。
②下宿は少々遠縁でもできたら数カ月は親戚にする
③縁者がない場合は学校の下宿斡旋を頼みできるだけ不動産は利用しない。
④できたら一人住いでなく同じ学校の人と二人で住む。(色々不便な点もあるが思い出となり将来のためになる)

⑤下宿して半年位は下宿と学校の往復にし、なるべく夜は出歩かないこと。その他、電車・道路・場所等を聞く場合は駅員や交番でたずねるようにしてください。また、それ以外何かございましたらどうぞどんな事でも東京連絡事務所に電話してください。
〇三(六六六)七〇〇二
この番号も手帳に記入して上京してください。

朝日中 羽ばたけスキー界のホープ

*県中学スキーで上位進出

去る一月十九日から三日間、米沢市の栗子国際スキー場で開かれた県中学校体育大会冬季大会に、朝日中から四選手が初出場し、上位進出を果たしました。

本大会には、強豪蔵王二中や米沢三中をはじめ県内各地から一三五人が参加。

朝日中からは、二年生四人が回転、大回転の二種目に挑んだ結果、初出場にもかかわらず上位に食い込み、周囲の注目を浴びました。

今回の成果は、白倉スキー場の整備をはじめ、指導陣の並み並みならぬ努力や

学校側の協力などがあって収められたもの。今後、六十二名のスキースポーツ少年団員の心の励みともなり、小学生からの低辺拡大にもつながるものと期待されます。

成績は次のとおりです。

■回転

- ・第38位/松尾孝之
- ・第39位/滝川功次
- ・第77位/柏倉敬一
- ・第80位/長岡 徹

■大回転

- ・第55位/滝川功次

(滝川清一広報委員)

ふるさとへの便り

19

朝日町での私の思い出を語るのに、切り離せないのが、あの有名な朝日岳です。高校時代の三年間、山岳部で過した私は、春夏秋冬の四季それぞれの朝日岳を見てきました。山のすばらしさは、ここで言うまでもないと思うので、忘れられな

い思い出をお話します。始めに、ここからは、食事の前後三十分以内に読むのは避けた方がよろしいかと思えます。
初秋に清掃登山で行き、鳥原に一泊しました。鳥原に着くまでに、途中で汁のこを採りながら来てみそ汁



上郷集落センターで 書き初め展

このほど、上郷地区集落センターで地区民の書き初め展が開かれました。

これは、センターの文化部が主催したもので、区内の小中学生の書き初めや親子合作の防火ポスターなど作品のすばらしい出来ばえに、訪れた地区民もビックリしていました。

明るく正しい選挙を 推進しよう!

●今年は選挙の年

四月に統一地方選挙が、六月頃に参議院議員選挙、十二月頃に農業委員会委員選挙が予定されています。衆議院についても解散の動きがあり、町長選挙を除きすべての選挙が行われようとしています。

特に参議院については、比例代表制による初めての選挙で、私たちが有権者にとって極めて大事な年です。

●政治と選挙

政治の良否は、選挙の良否によって大きく左右されるといわれています。主権者である私たちの意思が正しく政治に反映されるかどうかは、私たちが有権者として選挙においていかに行動するかにかかっています。

選挙による代表者の選出は、私たちの意思を国や

県、町の施策にとり入れる方法として最も重要なことであり、民主主義の原則となっています。

明るく住み良い社会づくりのために、私たちが有権者一人一人が明るく公正な選挙を推進し、自分の判断で最も信頼のおける人を選ばなければなりません。

●県議選 4月24日 町議選 4月24日

統一地方選挙も十回目をむかえようとしています。

選挙期日(投票日)は、県議会議員選挙が四月十日町議会議員選挙が四月二十四日と決まりました。

私たちに最も身近な選挙です。それだけに有権者のかたも、大きな関心を持っていることと思います。住み良い町づくりのためにも、違反のない明るい選挙を推進しましょう。

思い出の朝日岳 忘れ得ぬ

渡 邊 淳 子

《東京都大田区南馬込4-10-4 南馬込寮106号》



*プロフィール

- 昭和36年8月/宇津野生まれ
- 現在/大田区立大森北保育園、1歳児すずらん組担当
- 趣味/本で見て、おいしい物を食べ歩きすること

を作りしました。お味はバツグンでした。が、夜中に一人二人と吐き出し、同行した朝日病院の看護婦さんは初め「ハイ、薬」とやさしく言っていました。が今度はその方も吐きだし「く・す・り・あそこ」と気持ち悪そうにしていたり……。吐きに外に出ると「ゲーゲーゲーのベック」とだれかがいて「失礼しました」と場所を変えると前にだれかが吐いた物があつたりで、たいへんな騒ぎとなりました。

小屋の中では「○○さん何回吐いた?」「十回」「私、十二回」「あの人、十三回だ」と言って、「うーまた、出そうだ、私これで十一回目だ」と言っていて走って行ったりの始末でした。もう吐く物もなくな

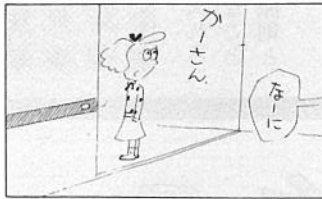
り、気持よさそうな赤味のできた顔で眠ったのが朝の三時ごろでした。朝、立木の松田さんがいらして、吐いた物を見て「月夜茸、食ったなあ」とおっしゃっていました。

みんなぐったりしている時に下着一枚で歩きながら「おまえだ心配すつこないがらなあ。ひどくなったら、いつでもおまえだの一人や二人背負って下って行ってからで、夜中でも、大丈夫だぞ、朝日の山なら目つむって行けっから」と頼もしく言って下さった二十五歳ぐらいの方がおりました。その方は、もう去年あたり結婚なさったそうなので、そのような方とぜひ結婚したいと思ひ物色中ですが、東京にはなかなかいそうにもありません。

― 追伸 ― 朝日分校の山岳部がなくなるかもしれないと耳にしましたが、あんなにすばらしい朝日岳がすぐ近くにあるのにもったいなくまた私たちが一時期頑張った部がなくなるのはとても残念に思います。

君がやわさ

西村 宗



●57年12月1日～12月31日届出
区名 出生者氏名父名 続柄
中 沢 五十嵐千晶平一郎長女
栄 町 清野 淳 義弘 長男
西 船 渡 若月鞠美 俊行 二女
平 佐藤織恵 幸作 二女
西 町 鈴木悠理 光也 長女
西 船 渡 鈴木浩子 敬一 二女
常 盤 佐竹幸子 和一郎長女
沼 向 菅井祐也 欽也 長男

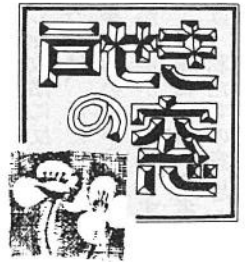
●57年12月1日～12月31日届出
区名 死亡者氏名年齢世帯主
送 橋 清野 大田 84 喜三郎
小 原 鈴木 せよ 71 薫 示
新 宿 成原 三郎 88 政 己
杉 山 藤澤仁太郎 80 勝 美
太郎二 村山 康哉 77 康 一
栗木沢 遠藤武一郎 75 健
中 沢 五十嵐ふよ 91 藤 雄
能 中 海野 傳祐 82 祐 吉
中 沢 堀 豊治 60 文 雄
助ノ巻 鈴木 よす 69 一 男

●58年1月1日～1月31日届出
区名 死亡者氏名年齢世帯主
松 程 鈴木高之助 77 正 市
大 谷 六 川村知恵子 26 信 慧
真 中 武田 とく 89 信 一
石 須 部 長岡吉三郎 77 啓 治
石 須 部 長岡康太郎 85 誠 雄
長 沼 松田 陽子 51 信 次郎
八 沼 佐竹 てつ 79 正 二
新 宿 高田 藤蔵 74 藤 男
小 原 佐藤志ゆう 87 芳 太郎
区 名 死亡者氏名年齢世帯主
●58年1月1日～1月31日届出
栄 町 多田友太郎 79 賢 司

*出生

*死亡

*婚姻



社会福祉協議会へ 現金贈る

このほど、次のかたがたから
恵まれないかたのために役立て
て下さいと、社会福祉協議会へ
現金が贈られました。

▽八ッ沼/阿部 正見さん 11 二
〇、八六八円▽能中/海野祐吉
さん 11 五〇、〇〇〇円▽栄町/
多田賢司さん 11 五〇、〇〇〇円
▽石須部/長岡誠雄さん 11 五
〇、〇〇〇円

北部公民館へ ぞうきん百枚

このほど、中沢の五十嵐つる
のさん(七六歳)が、北部公民
館へぞうきん百枚を贈り感謝さ
れています。

*訂正について

先月号のみんなの教育
「高齢化社会をどう生きる」
の文中後段に、「中国のこ
とわざ」とありますが、
「江戸時代の佐藤一斎の教
え」と訂正いたします。

学校祭の収益金を 明鏡荘へ

☆朝日中生徒会

朝日中学校の生徒会では、明
鏡荘のお年寄りのために、昨
年十月に行った学校祭の収益金
一万円を贈りました。

県展入選作品を 町へ寄贈

☆大谷の白田正蔵さん

このほど、大谷五の白田正蔵
さんが役場を訪れ、昨年県展で
入選した作品、木彫「早春」を
寄贈しました。(写真)

町では、この貴重な作品の贈
り物に心から感謝するとともに
早速中央公民館(開発センター)
の二階廊下に飾りました。

